

令和5年第4回（9月）定例会 一般質問通告表

順	質 問 事 項	質 問 者
1	<p>1 医療提供体制と病院建設</p> <p>(1) 新両津病院について</p> <p>① 自治体病院の役割は</p> <p>② どのような病院にしていきたいか（病院ビジョン）。市の方針及び院長の見解は</p> <p>③ 遠隔地域への対応は</p> <p>④ 中身がどのように変わるのか。新たなサービスは</p> <p>(2) 人材確保と育成について</p> <p>① 短期的な取組は</p> <p>② 中長期的な方針は</p> <p>③ 医師の働き方改革 2024 年に向けた対応策は</p> <p>(3) 通院手段の確保策</p> <p>① 送迎問題の対応策は</p> <p>② ライドシェア解禁、スクールバス空き時間の有効活用などの検討は</p> <p>(4) 遠隔医療の進捗</p> <p>① 本市の優先課題は</p> <p>② 移動診療車両、ICT活用の進捗は</p> <p>2 福祉と教育の在り方</p> <p>(1) 第4次佐渡市障がい者計画・第7期佐渡市障がい福祉計画・第3期佐渡市障がい児福祉計画</p> <p>① これまでと異なり期待できるポイントは何か</p> <p>② アンケート結果が各計画にどのように反映されるのか</p> <p>(2) 川崎市における超短時間雇用プロジェクトについて</p> <p>① 評価できるポイントは</p> <p>② 社会実装のために必要なことは</p> <p>③ 産業振興部局との連携を強化すべきではないか</p> <p>(3) 柏崎市における障がい者雇用の取組について</p> <p>① 障がい者活躍推進アドバイザー制度について</p> <p>② 障がい者トライアル雇用上乗せ助成について</p> <p>(4) 幼児療育支援における就学相談の取組について</p> <p>(5) 特別支援学級におけるセンサリーツール導入に向けた検討について</p> <p>3 地域と共にある学校づくり</p> <p>(1) 教育委員会のビジョンは</p> <p>(2) 教育委員会が果たす役割は。学校との役割分担及び連携は取れているか</p> <p>(3) 学校運営協議会の運営方針は。テーマ設定は適切か</p> <p>(4) 学校統廃合と地域との関わりについて、「地域学校協働活動」が果たす役割をどのように考えるか</p>	後藤 勇典
2	<p>1 佐渡観光交流機構の調査結果による市の対応と今後について</p> <p>2 佐渡観光交流機構の職員体制と観光振興課からの職員派遣について</p> <p>3 4大スポーツイベントの実行委員会体制と佐渡市スポーツ協会とのすみ分けについて</p> <p>(1) 佐渡国際トライアスロン大会</p> <p>(2) 佐渡ロングライド210大会</p> <p>(3) 佐渡トキマラソン大会</p> <p>(4) 佐渡オープンウォータースイミング大会</p> <p>4 佐渡市観光交流戦略作成に伴う実践について</p> <p>5 佐渡観光データ分析の活用について</p> <p>6 世界文化遺産登録後の保存と活用、受入体制整備について</p>	坂下 善英
3	<p>1 「住宅リフォーム支援事業補助金」・「省エネ家電製品等購入促進事業補助金」について</p> <p>(1) 両事業の実施状況及び経済効果・経済波及効果について</p>	中村 良夫

順	質 問 事 項	質 問 者
3	<p>(2) 両事業補助金は、市民から強い要望があり、今後も引き続き、経済対策として事業を実施すべきではないか</p> <p>2 猛暑日が続く、熱中症及び連日の熱中症アラート発令について</p> <p>(1) 市の熱中症の対応、対策及び周知徹底について</p> <p>(2) 救急搬送状況について</p> <p>(3) 異常干ばつによる農作物に対するの対策と支援について</p> <p>3 健康保険証廃止の撤回、マイナンバーカードの見直しについて</p> <p>(1) 今後マイナ保険証がない人の対応について、資格確認書、申請が困難な場合の対応は</p> <p>(2) 保険証廃止は中止させ、一旦立ち止まってマイナンバーカードを見直すよう、佐渡市として国に働きかけるべき</p> <p>4 自転車用ヘルメットの生活保護での支給と周知徹底について</p> <p>(1) 就労・就学のための自転車用ヘルメット（代）は必要経費。生活保護法による保護の実施要領の取扱いについて、「生活保護問答集について」の一部改正について、実施状況の説明と周知徹底を求める</p> <p>(2) 自転車用ヘルメットを購入にした場合、補助金対象として広げることについて（小中学生、就学援助制度、低所得者等）</p> <p>5 子ども医療費助成を完全無償化について</p> <p>自己負担額・通院 530 円をゼロにすれば完全無償化になることについて</p> <p>6 学校給食費の無償化を今すぐ実施すべき</p> <p>(1) 憲法第 26 条は義務教育の無償を定めている（認識を問う）。さらに、学校給食法で食育の推進が位置づけられる（認識を問う）など、教育の一環としての位置づけが高まっている。子育て支援、保護者の経済的負担軽減から学校給食費の無償化を今すぐ実施すべきではないか</p> <p>(2) 全都道府県で 224 自治体から 482 自治体に広がっている（認識を問う）ことで、今すぐ佐渡市でも実施すべきではないか</p> <p>(3) 学校給食費無償化をまずは多子世帯から実施する場合の費用について</p>	中村良夫
4	<p>1 世界文化遺産登録に向けた準備と今後の取組内容について</p> <p>(1) イコモス調査終了における市の手ごたえはどうか</p> <p>(2) 今後、文化遺産の維持管理に必要な財源確保やその仕組みづくり等は検討しているか</p> <p>2 佐渡市観光交流戦略について</p> <p>(1) 作成のスピード感について、遅くないか</p> <p>(2) 従来行ってきた戦略との違いはどこにあるのか</p> <p>(3) 既にアクションプラン（戦術）があつてしかるべきではないのか</p> <p>(4) 販売戦略はどうなっているか</p> <p>(5) 過去から弱いとされてきた PR 手法やアクセス整備はどのように対策しているか</p> <p>(6) 全般的なホスピタリティに課題はないか</p> <p>(7) 販売促進という観点から市としての組織体制に課題はないか</p> <p>3 島内産業の振興政策について</p> <p>(1) 猛暑による農作物被害、イカ・トビウオ等の不漁状況の把握、及び被害予測はできているか。また、その対策等は何か</p> <p>(2) 光通信網の全島開通に伴い、ICT を活用した産業振興策は検討しているか</p> <p>(3) ビジネスコンテスト実施による新規起業の状況はどうなっているか。また、島内産業や経済への波及効果はどうか</p> <p>(4) 人材、人手不足への支援策は何か</p>	林 純一
5	<p>◎ 佐渡ヶ島（SDG s）集落ツーリズム構想の実現に向けて</p> <p>【しごとづくり】【ひとづくり】【まちづくり】の計画に関する確認と提案</p> <p>(1) 一般社団法人佐渡観光交流機構と一般財団法人佐渡文化財団について</p> <p>① 両法人の不祥事についての改善策を何と考えるか</p> <p>② 両法人の専務理事、常務理事の着任状況はどうなっているか</p>	室岡啓史

順	質 問 事 項	質 問 者
5	<p>③ 両法人を統合し、佐渡観光文化交流機構（仮称）にして再始動するべきではないか</p> <p>(2) さどの島銀河芸術祭 2024 について</p> <p>① 新潟県と連携しながら、文化庁の補助金を有効活用するべきではないか</p> <p>② 能舞台及びジオサイトをアートスポットにして、アートツーリズム、観光地域づくりを推進するべきではないか</p> <p>③ 大地の芸術祭や瀬戸内国際芸術祭などに追随する努力が必要ではないか</p> <p>(3) 防災減災対策について</p> <p>① 気候変動に伴い、全国的に頻発している豪雨、風雪害、地震などの災害への備えは十分なのか</p> <p>② 今冬の停電を教訓にしたアウトドア防災の啓発活動を推進するべきではないか</p> <p>③ 宝くじコミュニティ助成事業等を活用した自主防災組織等との連携による必要器具の購入促進をするべきではないか</p>	室岡啓史
6	<p>1 地域共生社会に向けた地域包括ケアシステムについて問う</p> <p>(1) 事業主体である佐渡市の地域包括ケアの現状評価と課題は</p> <p>① 介護予防ができていないか</p> <p>② 自立支援に資するサービスになっているか</p> <p>③ 在宅の重度者支援、看取りができていないか</p> <p>④ 生活支援・福祉サービスにどのように取り組んでいるか</p> <p>⑤ 住まいは保障されているか</p> <p>(2) 医療介護の分野でのオンラインの活用</p> <p>① 在宅医療では通院困難者に対して、医療専門職が訪問し、暮らしの場で患者、家族の意向をくんで医療を提供しているが、オンラインを利用することによりサービス向上が期待できるのではないか</p> <p>② タブレット等を活用した介護・看護・医療連携による情報共有によるケアの向上</p> <p>③ リウマチ患者など医師不在による診察難民化の改善</p> <p>(3) 令和5年度佐渡市地域包括支援センターの運営方針について</p> <p>① Ⅲの1、地域包括ケアシステムの深化・推進では、どのような取組がされているか</p> <p>② Ⅲの2、地域におけるネットワークの活用で、「地域が抱える課題の把握と解決」について、課題把握はどのような手法を用いているか</p> <p>③ 地域包括ケアシステムは誕生から最期までの期間を抱えるシステムであり、どの段階でも必要となる「食」が重要になる。現職員体制は、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員が配置されているが、日常最も大事な食事による栄養をつかさどる栄養士の配置が必要ではないか</p> <p>(4) 佐渡市高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画について</p> <p>① 計画策定のための各種意向調査の進捗状況</p> <p>② 地域ケア会議の活用による地域課題の把握、社会資源の活用状況</p> <p>③ 第8期介護保険事業計画の実績把握と分析の進捗状況</p> <p>④ 計画の策定に当たり、関係部局との連携は全庁的な取組となっているか</p> <p>⑤ 介護利用者減少による施設休止の流れと今後の介護関連施設の整備をどのように考えているか</p> <p>2 佐渡農業の将来に係る地域計画について問う</p> <p>改正された農業経営基盤強化促進法では、基本構想を作成している市町村は、地域における農業の将来の在り方等について、協議の場を設け、協議の結果を踏まえ、農用地の効率的かつ総合的な利用を図るため、「地域計画（人・農地プラン）」を策定。地域計画は、施行日（令和5年4月1日）から2年以内（令和7年3月末まで）に策定することが求められている</p> <p>(1) 地域計画（人・農地プラン）の策定の進捗状況</p> <p>① 地域で農業の将来の在り方等の協議はどの程度進んでいるか。また、結果の公表はいつ頃か</p>	佐藤 定

順	質 問 事 項	質 問 者
6	<p>② 地域への地域計画の理解やメリット、措置の説明は早期に行うべき</p> <p>③ 令和7年3月末までに策定する地域計画数は</p> <p>(2) 地域計画で、人の確保・育成では、担い手として移住者の位置づけと呼び込みはどのように考えているか</p> <p>(3) 佐渡市の「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」の変更と追加される項目の内容</p> <p>3 佐渡市の業務執行体制について問う</p> <p>(1) 業務手順書による内部統制で事務ミスや相互牽制はできているか</p> <p>① 業務手順書・マニュアルの整備状況はどのようになっているか</p> <p>② 各部、各課等での業務手順書・マニュアルの整備、管理状況を一元的に管理すべきではないか</p> <p>③ コンプライアンス、内部統制を所管する部署の新設が必要ではないか</p> <p>(2) 監査部署として内部統制の評価について</p> <p>① 地方自治法に規定された内部統制導入により品質の向上は期待できるか</p> <p>② 内部統制が導入された場合、監査体制はどのように変わるか</p> <p>4 佐渡観光交流機構調査チーム報告書について</p> <p>(1) 報告書まとめ(1)では、観光振興課の責任について言及しているが、観光振興課の業務手順書に沿った手続きがなされなかったことは手順書に不備があるのか。手順書に沿わず事務処理を進めたのか、どちらか</p> <p>(2) 報告書まとめ(2)では、佐渡観光交流機構の役割について記載されているが、不適正な事務処理とどのような関係があるのか</p> <p>(3) 報告書まとめ(3)では、組織体制見直しについて言及しているが、佐渡観光交流機構を監督する部署は今まで何を監理・指導してきたのか</p> <p>(4) 報告書まとめ(4)では、予算要求及びチェック体制について言及しているが、予算編成過程において佐渡観光交流機構の作成した予算要求を、資料を求めないまま予算査定を経て予算計上されたことは、どの部署での手順書に基づいて事務処理が行われたのか。また、精査されなかったことは手順書に問題があったのか。手順書を無視して事務処理をしたのか。原因は何か</p> <p>5 職員の懲戒処分について問う</p> <p>(1) 今回の事務怠慢、不適切な事務手続きでは、人事異動前に発見できなかった原因は、すこやか両津の事務手続きに問題があったのか。それとも業務手順書を無視した手続きにより発生したものか</p> <p>(2) 再発防止策で、上司による業務進捗管理がなされなかったことは、業務手順書のどの部分が不備だったのか</p> <p>(3) 今後「支出負担行為何票の決裁を受けていなければ支出ができないように、伝票と決裁の仕組みを改める」とされているが、このことは全庁的なことか</p>	佐藤 定
7	<p>1 南佐渡中学校と赤泊中学校の統合について</p> <p>(1) 令和7年4月統合に向けてのスケジュール</p> <p>(2) 統合に向けての課題</p> <p>(3) 保護者や地域からの意見をどのように取り進むか</p> <p>(4) スクールバスについて</p> <p>2 学童保育について</p> <p>(1) 新しく学童保育の要望がある地域への取組</p> <p>(2) 学童保育設置に関する基準</p> <p>(3) 来年度に向けての課題</p> <p>3 佐渡スポーツハウス温水プールについて</p> <p>(1) 温水プールの故障</p> <p>(2) 今後の修繕状況</p> <p>4 図書館の利用拡充について</p> <p>(1) 7月、8月に中央図書館で試験的に開館時間を1時間延長したが、結果はどうだったか</p>	平田和太龍

順	質 問 事 項	質 問 者
7	<p>(2) 同時期に市民アンケートを実施したが、市民の声に今後どのように取り組んでいくのか</p> <p>5 佐渡市地域クラブ活動について</p> <p>(1) 今年度の計画</p> <p>(2) 生徒のアンケート結果</p> <p>(3) 指導員や練習場所の確保</p> <p>(4) 今後のスケジュール</p>	平田和太龍
8	<p>1 健康寿命日本一を実現するためにはどのような計画があるか</p> <p>(1) 佐渡市民の現在の健康寿命はどのレベルにあるか。今後の目標はどのようになっているか</p> <p>(2) 健康寿命を延ばすには、よい食事・運動・他人とのふれあいが必要と言われているが、これらを市民にどのように伝えて、どのように実行していこうと計画しているか</p> <p>(3) 最終的には地域で助け合う力が必要になると思うが、そのために行政は何をすべきか</p> <p>2 脱炭素の先行地域として、まず島内に多くあるマイカーのEV化を進めるべきと考えるが、どうか</p> <p>(1) 佐渡島内のEV化はどのくらい進んでいるか</p> <p>(2) まずは充電設備の充実を図るため、EV用コンセントの増設が必要だが、どのようにして進めているか</p> <p>(3) レンタカーのEV化はホテルに充電設備が必要だが、どのくらい進んでいるか</p> <p>(4) 佐渡一周線にも急速充電設備の設置が必要と考えるが、計画はあるか</p> <p>3 70歳からの運転免許証の更新が難しくなるのを行政はサポートすべきではないか</p> <p>(1) 佐渡市でもシニアドライビングスクール開催の方向を検討すべきと考えるが、どうか</p> <p>(2) 佐渡の場合、運転免許証がなくてはならない人も多くいると思われるが、その人が運転免許証を返納した場合のことは考慮しているか</p> <p>4 市民の人権を守るためにも少数派を尊重する姿勢が行政にはあるのか</p> <p>(1) 少数派のことを知ってもらうことで差別は少なくなると思うが、どうか</p> <p>(2) 人権展の講演にあったLGBTQのことを積極的に市民に知らせるべきではないか</p>	中川健二
9	<p>1 地域経済の復興に向けて</p> <p>(1) 異常気象への対応策</p> <p>(2) 総合産業としての観光について</p> <p>① 宿泊施設改修による効果</p> <p>② 地域経済循環創造事業交付金（空き家再生事業）</p> <p>③ コロナ前と比べて観光客の消費行動は</p> <p>④ 佐渡地域内での経済循環</p> <p>⑤ 佐渡観光交流機構の支部運営</p> <p>(3) 小規模事業者への経営を維持するために</p> <p>① 融資返済、第二創業などの経営支援</p> <p>② 総合的な企業支援体制と商工会の位置づけ</p> <p>(4) 進出企業定着・地域活性化支援モデル事業の進捗は</p> <p>2 地域公共交通について</p> <p>(1) こがね丸のダイヤ別実績と冬季対応</p> <p>(2) 路線バスの減便等と利用者の声</p> <p>(3) 両泊航路社会実験について</p> <p>3 健康で安心できる暮らしに向けて</p> <p>(1) 各種検診の活用と疾病予防対策</p> <p>① 個人データ管理と保健指導</p> <p>② 生活習慣改善と自分事と捉えるための手法</p>	金田淳一

順	質 問 事 項	質 問 者
9	<p>③ 認知症の予防と対応</p> <p>(2) 介護サービスの将来展望について</p> <p>① 人手不足と物価高による事業者の経営難</p> <p>② 市財政と直営施設の在り方</p> <p>③ 訪問系サービスを維持できるのか</p> <p>④ 佐渡地域医療・介護・福祉提供体制協議会での議論は</p> <p>4 学校統合について</p> <p>(1) 統合計画の進捗状況</p> <p>(2) 地域や保護者との協議方法</p>	金田 淳一
10	<p>1 次期市長選への姿勢について</p> <p>2 佐渡観光交流機構について</p> <p>(1) 不適正事務調査結果について</p> <p>① 観光DMOは、地域全体で目的と役割を整理し、明確にする点が重要だが、市民目線で納得できる調査内容となっているのか。不正事案は、行政や佐渡観光交流機構への信頼、コンプライアンスの問題につながるものと捉えているか</p> <p>② 市は、佐渡市補助金等交付規則に反し、予算要求・査定の根拠書類もないまま予算支出したこと、内部統制ルールで平成 29 年 4 月 3 日付け通知の「佐渡市補助金等交付規準」にも反していたことは、「思い込みから」などで片付けられるものではないのではないか</p> <p>③ 補助金等の受け手の佐渡観光交流機構の組織（理事会、監事等）が機能していないのではないか</p> <p>④ 9 月 1 日の議員全員協議会で、該当年度以前についても調査すると言及したが、具体的にどうするのか。また、今後の在り方として「外部機関によるチェック機能の構築を検討」とは何か</p> <p>(2) 今後の在り方について</p> <p>① 観光庁の観光DMOに関するどの文書も、行政に依存せず、安定的かつ多様な運営資金、自主財源確保を強調している。このことを曖昧にしたままの推移ではなかったか。また、今後の佐渡観光交流機構の財源確保や市の予算支出をどうするのか</p> <p>② 調査報告は「今後は、市職員（派遣）に頼ることなく、交流機構職員が中心となって事業運営が行えるよう、交流機構職員の育成が急務であり、交流機構自らが危機感を持って抜本的な組織体制の見直しを行うことが必要」としているが、具体策は何か</p> <p>3 佐渡汽船、4 代目こがね丸の行政支援と予備船について</p> <p>(1) カーフェリー4代目こがね丸の導入に係る 11 億円の行政支援の費用の内訳</p> <p>(2) 4 代目こがね丸は、新潟ー両津航路の冬の 1 隻体制解消を前提に、行政支援総額 11 億円のうち、佐渡市は 7 億 3,300 万円の行政支援をしたが、これの解消につながらない「予備船」問題はどうなったのか</p> <p>4 本庁舎整備（防災拠点庁舎整備）、移転後の行政サービスセンターについて</p> <p>(1) 物価高騰等の中、本庁舎全体の整備費の影響</p> <p>(2) 議会、上下水道課が移転後の佐和田、真野行政サービスセンターは、それぞれ改修を行う方向だが、内容と予算はどうなるか。また、佐和田地区については、協議が続いているようだが、真野地区はどうか</p> <p>5 次期佐渡市高齢者保健福祉計画・第 9 期介護保険事業計画等について</p> <p>2024 年は介護報酬と診療報酬のダブル改定・見直しで、「2025 年問題」に向けた 2024 年度の制度改定は、特に重要な法改正になるものである</p> <p>佐渡市の第 9 期介護保険事業計画は「施設介護だけが介護でない。在宅サービス等を上手に使い介護サービス提供の計画」を策定中としているが、市の計画はどうなるのか</p> <p>(1) これまで、高齢になっても誰でも安心して地域で住み続けられる体制整備の地域包括ケアシステムを進めてきたが、評価と到達点、今後の方向性。次期改定では、人材不足の視点から訪問介護・通所介護の複合型サービスが創設される方向だが、佐渡市はどのようになるのか</p>	中川 直美

順	質 問 事 項	質 問 者
10	(2) 介護認定者の7割が高齢者のみ世帯だが、老々介護などの問題点はないか (3) 介護帰省への航路割引及び介護手当の拡充は必要ではないか (4) 災害時停電対応として、在宅での人工呼吸器などの使用者に対して家庭用蓄電池助成制度が広がっているが、対応が必要ではないか	中川直美
11	1 令和4年11月17日の総務文教常任委員会議事録を読み、職員の残業時間、職員数は適切か 2 台湾との交流について 単年度で終わりか。交流内容、予算額の詳細等について問う 3 公印の管理については適切か。すこやか両津で受け取れなかった補助金約200万円について問う 4 指定管理委託施設（白雲台、サンライズ城が浜等）の利用計画、利用者数等について問う 5 佐渡市が保有する佐渡汽船の株主優待券の取扱い、こがね丸の冬季運行ダイヤについて問う 6 佐渡でも木質バイオマスエネルギーなどが利用できないか 7 重要伝統的建造物群保存地区について 災害、火災での建替え、修繕してくれる人がいるか。費用等の補助はあるか 8 真野小中学校の体育館修理等について問う 9 社会体育施設修繕料の予算について問う 10 高齢者等への宅配・生活支援について問う 11 環境美化運動について問う 12 高千漁港等での魚の放流事業について問う 13 雇用機会拡充事業補助金等で建物を改装した場合の固定資産税の取扱いについて問う 14 井坪地内の盛土の予算、工事期間、施工方法等について問う 15 さど観光ナビに掲載されている公衆トイレの設置場所の情報について問う	山本健二
12	◎ 人が人らしく生きられる佐渡を子どもたちに喜んで渡すために質問をする 1 全力投球で子どもたちが幸福で居心地のよい佐渡づくりを求める (1) 子どもの使いやすい図書館としてさわた図書館整備計画を成功させるために ① 子育て世代の要望をどのように聞いているか ② 幼児・児童・生徒の要望をどのように聞いているか ③ 図書館ボランティアとどのように活動を展開する計画か (2) 新型コロナワクチン接種について ① 6か月の乳児にも新型コロナワクチン接種が始まったが、免疫力の高い乳幼児に本当にこのワクチン接種が必要と考えるか ② 接種後の健康リスクについて、どのくらい将来を見通して説明しているか。相談窓口、またリスクについての最終責任者は誰か (3) 中学生の部活動の地域クラブ移行について ① 目的は何か、利用対象者は誰か ② 特別支援学校の生徒も含め、すべての生徒が地域クラブを理解しているか ③ 新しい組織としての積極的な活用をどのように考えているか (4) 7月4日に文部科学省は「初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン」を公表したが、チャットGPTなど今後学校現場ではどうする方針か 2 佐渡の農業政策について (1) 全国では農業壊滅まであと15年とも言われているが、佐渡の持続可能な農業をどのように持続可能にしていく考えか。家族農業で支えてきた農業と法人化した大規模稲作経営などをどのように評価しているか (2) 佐渡市はDX（デジタルトランスフォーメーション）による営農も推奨しているが、これは現実的に検証した結果、実現可能と考えるか (3) 国は来年に向け、「食料・農業・農村基本法」の改正に、有事やパンデミックの際、	荒井眞理

順	質 問 事 項	質 問 者
12	<p>農業者に対して強制力を発揮できる整備を目指しているが、佐渡の農業はこれに応じることができるか</p> <p>3 一般社団法人佐渡観光交流機構と観光振興課の不適正事務処理問題について</p> <p>(1) 令和4年度に財政援助団体等監査結果として報告された民間団体と行政の間の不適正事務処理問題とは何か</p> <p>(2) 調査チームが立ち上がったが、なぜこのような問題が起こったのか、原因をどのように精査したか</p> <p>(3) 両者の間に発生した問題は全て確認できたか</p> <p>(4) 佐渡市の責任は何か</p> <p>(5) 今後どのように解決していくのか。特に負担金の考え方について説明を求める</p> <p>4 佐渡市職員の持続可能でやりがいのある信頼された働き方について</p> <p>(1) 佐渡市のハラスメント防止マニュアルのセルフチェック項目の見直しをしているか</p> <p>(2) 市民や地域の問題解決、また業務遂行するに当たり、職員間のコミュニケーションはスムーズにできているか</p> <p>(3) 職員間のより心地よいコミュニケーションのためにどのような制度があり、どのような成果を上げているか</p>	荒井 眞理
13	<p>1 5類移行の感染症COVID-19について</p> <p>(1) 感染症の島内の現状、医療現場や島民等について</p> <p>(2) 感染症対策の検証について</p> <p>2 佐渡市の現状と将来について</p> <p>(1) 将来の財政見込みと行政運営方針について。市有財産、学校等含む施設についての考え方</p> <p>(2) 人口問題と高齢化についての将来予測と対応策について</p> <p>(3) 健康保険事業、福祉施策及び医療施策について</p> <p>(4) 当市の各業種における経済状況と将来予測。観光、漁業、農業、林業について</p> <p>(5) 空き家等の現状と対策について</p> <p>(6) 一般廃棄物処理の現状と将来について</p> <p>(7) 上下水道の現状と将来について</p> <p>3 世界文化遺産の進捗状況について</p> <p>(1) 歴史認識について</p> <p>(2) 今後の資産活用と保全について</p>	稲辺 茂樹